



令和3年(2021年)7月30日(金)
広島市安佐動物公園 管理課長：石松
担当：企画広報係 嶋田 ☎082-838-1111

サバンナゾウの「アイ」が死亡しました

安佐動物公園のサバンアゾウ「アイ」(雌、推定39歳)が、令和3年7月29日(木)に死亡しました。

1. アイの経歴

昭和59年1月18日 南アフリカから、推定2歳で姫路セントラルパークへ
平成8年2月27日 東京都多摩動物公園に移動
平成10年4月25日 雄のパオを出産
平成14年6月13日 雌のマオを出産
平成21年3月4日 群馬サファリパークに移動
平成23年11月17日 広島市安佐動物公園に来園

2. 死亡の経緯

当園での繁殖を目指して約10年間にわたり、アイを飼育してきましたが、時々砂を食べることが原因で生じる便秘による疝痛症状以外には目立つ病気はありませんでした。今回の死につながる状況をビデオで確認したところ、昨日(7月29日)18:26頃に座り込み、立ち上がろうとしたが起立できずに横になり、しばらくしてけいれんを起こした後に18:36頃に動かなくなりました。異常が出現して僅か10分余りの間に胃腸が膨らみ、肺を圧迫して呼吸ができなくなったものと考えております。

3. 死因について

現在、解剖検査をして詳しく調査中です。

※ サバンナゾウ

サハラ砂漠以南のアフリカに広く分布する。地上最大の動物で、大きな耳はよく聞こえるだけでなく、血液を冷やして体温を下げる役目もする。長い鼻は上くちびると鼻と一緒に伸びたもので、たくさんの筋肉で作られ、太い枝を折ったり、鼻先で小さな木の実などもつまむことができる。近年、DNA分析により「アフリカゾウ」の一亜種とされていた「マルミミゾウ」を独立種とする説が有力になったことで、当園では「マルミミゾウ」でないアフリカゾウを独立種「サバンナゾウ」として扱っている。



開園時間	午前9時から午後4時30分まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料	大人510円、65歳以上・小人(高校生及び高校生相当年齢)170円、中学生以下無料 ※65歳以上の適用には公的証明書が必要
休園日	毎週木曜日(ただし、祝日の場合は開園)